








各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和5年 2月のHPきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1)  タカラスタンダードが値上げ
- (2)  生涯子供なし 日本突出 50歳女性の27%
- (3)  ペット高齢化、かさむ費用 医療、早目の保険加入も
- (4)  教員労働時間 日本が最長 OECD調査
- (5)  日本人の誕生日 9月が多い
- (6)  都道府県ランキング 時間編 女性の仕事
- (7)  人口、東京集中が再加速 昨年3.8万人転入超

(1) タカラスタンダードが値上げ



*タカラスタンダードは、キッチン関連商品などを最大で約26%値上げ。

*4月3日の注文分から反映。

*2022年4月にも最大9%程度の値上げを実施。

*リフォーム用システムキッチンが7~14%程度、換気扇などの商品は13~24%程度、パネルや内装材は19~26%程度を見込みます。

(2023年1月6日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 生涯子供なし 日本突出 50歳女性の27%

*経済協力開発機構(OECD)のデータで、1970年に生まれた女性の50歳時点の無子率を比べると、日本は27%と先進国で最も高くなっています。

*次いで高いのはフィンランド(20.7%)。

*西欧諸国では子を持たない人の増加の勢いが収まっており、日本は後れを取っています。

(2023年1月12日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) ペット高齢化、かさむ費用

医療、早目の保険加入も

*ペットも人間同様、寿命が延びて老後の期間が長くなっています。

*ペットフード協会の調査によれば、犬の平均寿命は14.76歳、猫は同15.62歳(2022年)。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこゝろ、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- *一般に7歳以上とされる高齢期の割合は犬が54.3%、猫は43.5%。
 - *ペットに関わる2021年の平均年間支出は犬が約35万円、猫が約17万円。
 - *ともに前年比2%強増。
 - *金額が大きいのは「フード・おやつ」「怪我や病気の治療費」。
 - *ペット保険は医療費の一定割合を補償。
 - *損害保険と少額短期保険の17社ほどが扱っており、国内の犬・猫の推計飼育頭数に対する加入率は15%程度。
 - *譲受飼養業者は全国で200を超えます。
- (2023年1月14日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4) 教員労働時間 日本が最長 OECD調査 指導力向上 注力できず

- 2018年の経済協力開発機構(OECD)の調査
 - *1週間当たりの教員の仕事時間は小学校54.4時間、中学校56.0時間で、それぞれ参加国・地域で最長。
 - *中学教員は「課外活動」の私道時間が最長。
 - *ICT(情報通信技術)を活用させる中学教員の比率は17.9%で、平均は51.3%。
 - *教員が職能開発に充てる時間は1週間当たり0.6~0.7時間で、参加国の中で最短。
- (2023年1月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(5) 日本人の誕生日 9月が多い 2月と4月に「少ない日」あり

- *各月の日数の違いをならすため月の日数で割って1日平均を出すと、出生が最多なのは9月。
- *27年間の累計で1日平均82,593人が生まれています。
- *以下、7、8、10月と続きます。
- *最少は3月で75,815人。
- *365日のうち出生が最も多い誕生日は9月25日。
- *次いで12月25日、5月1日、9月26日。
- *少ないのは2月29日。
- *次いで1月1日、1月2日、12月31日。年末年始に集中。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- *曜日別の出生数では日曜日が最少。
- *計画分娩では約8割が事前に決めた日に出産できるといいます。
- *分娩件数のうち帝王切開は2020年に21.6%で、2008年から3.2ポイント増。
- *無痛分娩は全分娩の8.6%。
- *お産の約3割は自然分娩以外。
- *日本人の婚姻数の月別では、年を問わず11月が多くなっています。
(2023年1月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(6)  都道府県ランキング 時間編 女性の仕事


奈良が最短 最長は福井 北陸 三世代同居 働きやすく

- 全国の10歳以上男女19万人を対象とした2021年社会生活基本調査
- *女性の1日の平均的な仕事の時間(平日)は183分(3.1時間)。
- *前回調査の2016年より6分増。
- *北陸3県は三世代同居が多く、家事や育児の人手が潤沢なこともあり、夫婦の共稼ぎが広がっています。
- *2016年と比較して女性の仕事時間が増えたのは、東京都や神奈川県など大都市圏。
- *全国の女性の労働力率は2020年で53.5%と、2015年より3.4ポイント増。
- *奈良県は女性の労働力率でも夫婦共働き世帯の割合でも全国最下位。
- ☆女性の1日の仕事時間の全国ランキング (2021年、平日)

順位	都道府県	女性の仕事時間	2016年との差
1	福井県	221分	16分
2	東京都	218	28
3	富山県	215	7
6	石川県	205	14
	全国平均	183	6
30	大阪府	177	3
32	兵庫県	174	4
35	和歌山県	173	-3
45	滋賀県	164	-17
46	京都府	158	-24
47	奈良県	156	9

(2023年1月25日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(7)  **人口、東京集中が再加速 昨年 3.8 万人転入超**
22 道県で流出拡大 地方の就業難映す

*人口の東京への集中が再加速。

*東京都は転入者が転出者を上回る「転入超過」が 38,023 人となり、超過幅は 3 年ぶりに拡大。2021 年に比べて 7 倍増。

*22 道県で流出が拡大。

*テレワークを巡っては出社を再開する動きも。

*2020 年 5 月に 32%だったテレワーク実施率は、2022 年 7 月には 16%。

(2023 年 1 月 31 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

